

再評価【番号7】

広域河川改修事業
一級河川那賀川水系 那賀川

1. 河川の概要

那賀町和食

流域面積 $A=874\text{km}^2$
流路延長 $L=125\text{km}$



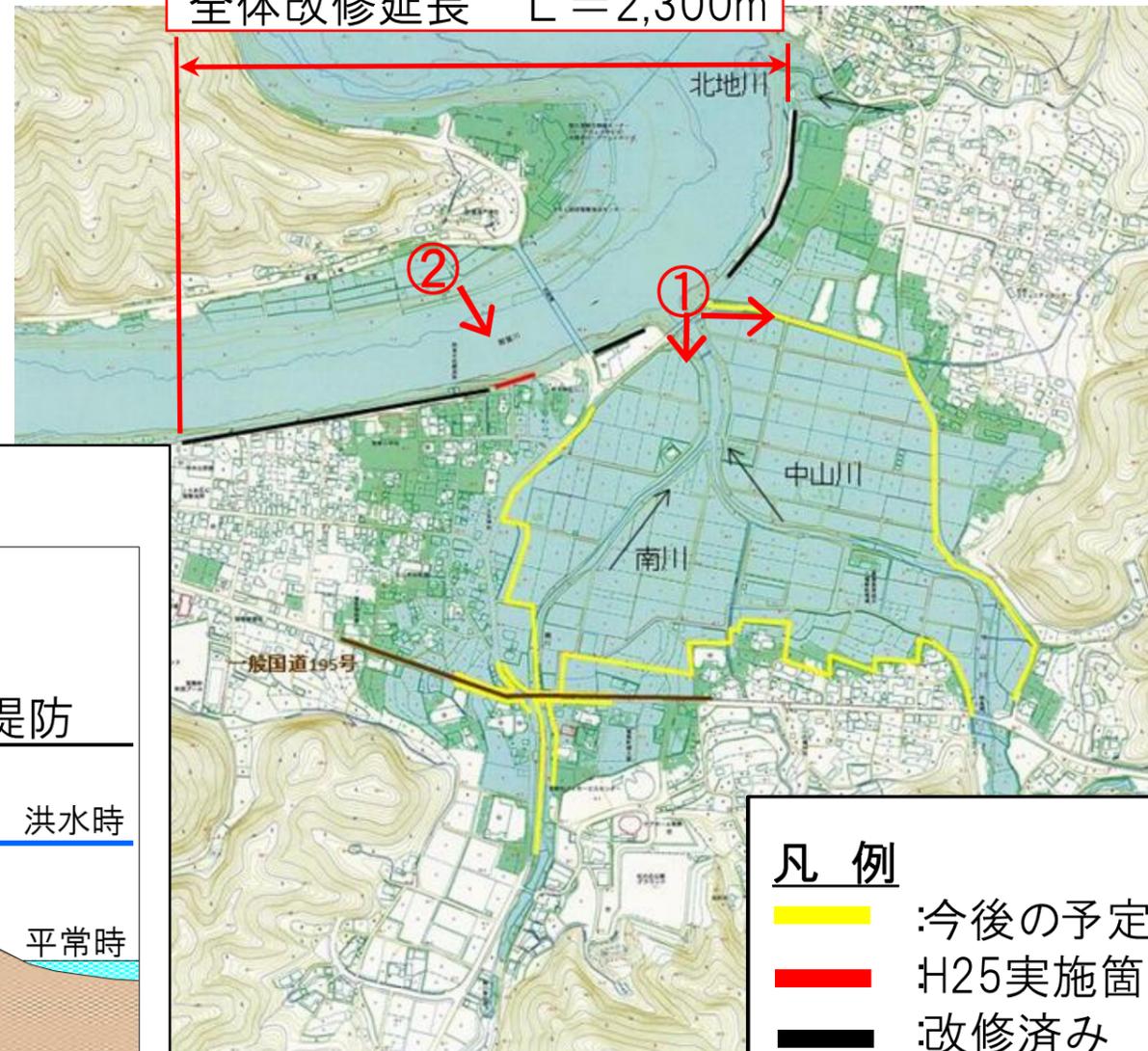
平成16年台風23号
浸水面積：35ha
床上浸水戸数：40戸
床下浸水戸数：14戸



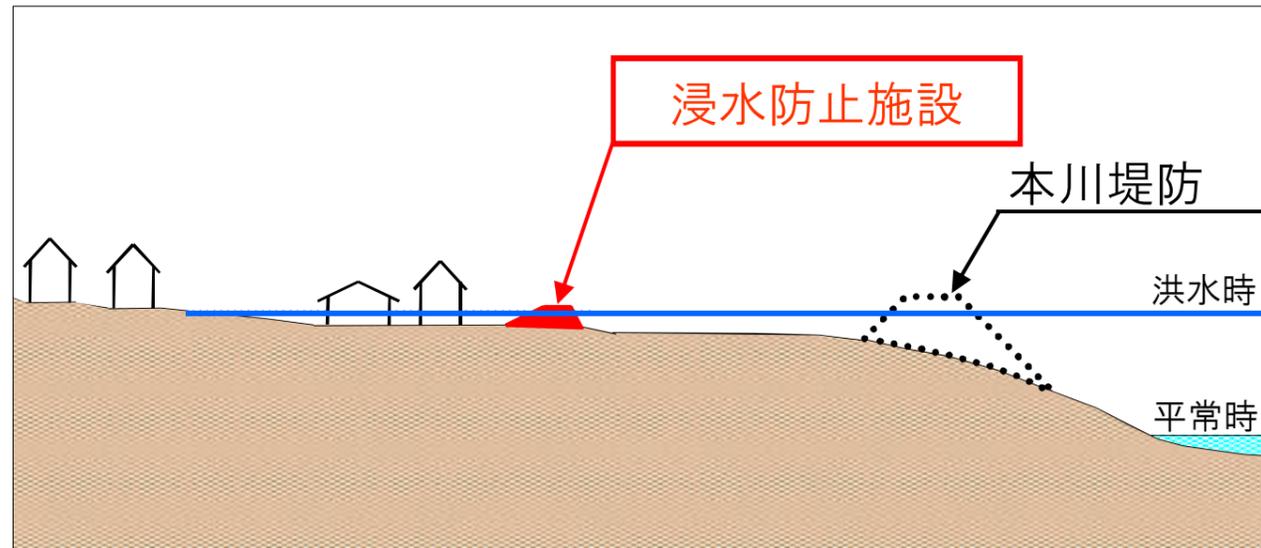
2. 事業概要



広域河川改修事業(S48～)
全体改修延長 L = 2,300m



浸水防止施設のイメージ



凡例

- :今後の予定
- :H25実施箇所
- :改修済み

3. 整備効果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓
計 **被害軽減期待額**
= 便益 B
88.9億円
(現在価値化後)

費用 C = 62.2億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.4$$

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

交通途絶による被害

↓
出水1回当たり
7百万円の被害を軽減

←---→ 通行不能になる区間
←---→ 想定される迂回路



経済被害の域内・外への波及被害

↓
出水1回当たり 5.1億円の被害を軽減

水害廃棄物の処分

↓
出水1回当たり
10百万円の被害を軽減

出水1回当たり被害額
= 5.3億円

4. 多様な効果

貨幣価値に表れない整備効果

人的被害の軽減

浸水区域内人口	535人
浸水区域内の災害時要援護者数	198人
最大孤立者数	459人

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

機能低下する主要な防災拠点施設数
那賀警察署, 那賀町消防団

→災害発生時の機能維持

ライフライン停止による波及被害の軽減

電力の停止による影響人口	63人
ガス停止による影響人口	5人
上水道停止による影響人口	3人
通信(固定)の停止による影響人口	63人

→住民生活環境の維持



H16台風23号 出水時

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】



那賀警察署



平常時

5. 事業評価結果

貨幣換算可能な整備効果

【治水経済調査マニュアルによるB/C】

- ・ 家屋、事業所等被害
- ・ 農作物被害
- ・ 公共土木施設被害
- ・ 営業停止被害
- ・ 応急対策費用 など

↓
計 被害軽減期待額
= 便益 B
88.9億円
(現在価値化後)

費用 C = 62.2億円
(現在価値化後)

$$\frac{B}{C} = 1.4$$

出水1回当たり被害額 = 5.3億円

(交通途絶被害、経済の波及被害、廃棄物の処分費等)

貨幣価値に表れない整備効果

【「水害の被害指標分析の手引き」による効果】

人的被害の軽減

- ① 浸水区域内人口の減少
- ② 浸水区域内災害時要援護者数の減少
- ③ 浸水区域内最大孤立者数の減少

防災拠点施設の機能低下による被害軽減

- ① 機能低下する防災拠点施設数

ライフライン停止による波及被害の軽減

- ① 電力の停止による影響人口
- ② ガス停止による影響人口
- ③ 上下水道停止による影響人口
- ④ 通信の停止による影響人口

■ 今後の対応方針 (案)

事業継続